

# 関宮学園

令和5年度  
-最終号-  
発行 3/19

## 卒業証書授与式 3 / 8

9年生18名が巣立っていきました。

送る言葉を安本実央さん(8年) 別れのことばを中村琉希也さん(9年)が述べました。

卒業生の今後の活躍を期待しています。21日には前期課程の修了証書授与式を予定しています。



## 養父市スポーツ賞受賞 3 / 5

本校野球部が『養父市スポーツ賞』優秀団体の部で表彰を受けました。この賞は、養父市のスポーツ振興に功労のあった者若しくは団体又はスポーツに関し優秀な成績を収めた者若しくは団体に対し、市長が行う表彰です。本校野球部は、5月の「関宮学園・浜坂中学校合同チーム」として全日本少年軟式野球大会兵庫県予選会優勝した成績と、11月の「関宮学園・八鹿青溪中学校合同チーム」として近畿秋季少年軟式野球大会準優勝した成績を評価され、それぞれ受賞となりました。平成25年度以来10年ぶり2回目の受賞となります。



ヨルダンとリモート授業 3 / 12  
による、ヨルダン～関宮のリモート授業を行いました。水野さんが「地元養父市の子どもたちにいろんな世界があることを知ってほしい」との思いで声をかけていただき、実現しました。

ヨルダンとリアルタイムで交流できるなんて、情報通信技術の発達が凄いです。

本校の卒業生でもある水野 萌さん



## 失敗からの学び

インターネットやICT機器の発達により、分からないことはその場で調べられるようになりました。何を知っているのかではなく、知識をどのように活用できるかが求められる時代です。正解が設定され、正解により速く、より正確にたどり着く学習は時代遅れだといわれるようになりました。誰も正解を知らない問題に対して、より妥当な答を自分の頭で考えられる力をつけていくことが大切です。そのためには五感を通じた体験的な知識が重要だといわれています。骨身にしみた体験があるからこそ、より深い答えが導き出せるのです。

失敗したい人はいません。しかし、一度も失敗をしたことがない人もいません。東京大学名誉教授で工学者の畑村洋太郎さんが、「失敗学」を提唱されています。「失敗学」とは、失敗をしないようにする学問ではなく、失敗から学ぶ創造的な学問です。教授は、「挫折から立ち直る時にこそ、体験的知識を獲得できるチャンスである。自分の頭で考え、未知の課題に対処できる力を身につけるために、安全を確保した状態でどンドン失敗すべきだ。」「大失敗を回避するためには、誰かの失敗談を聞き、自分が同じように失敗するシーンをリアルに想像するのが有効だ。」そして、「万が一、大失敗をしてしまった時は、逃げてかまわない。失敗から逃げるのではなく、失敗した自分を責める自分からひとまず逃げて、失敗を見つめるのは、時間が経ち、前向きなエネルギーが貯まってからでいい。」と述べています。

チャレンジする子どもたちを支援、応援したいと思っています。

関宮学園 HP <http://yabuboard.ed.jp/sekinomiyagakuen/>

